

KSKQ

エヌピーオー NPOちゅうぶ 通信

つうしん
2025年9月号



By.Ayu

おにごっこ チラシ
大阪府は私たちの声を聞いてください
避難所見学に行ってきました
オニたちの海水浴～2025年海企画報告
ナビゲーション
おにごっこ 解説

日本グループホーム学会全国大会へ
K男ミニオンハチャメチャミッショソ
おにの夏祭り開催しました！！
木戸通雄の部屋
協力会費 カンパ
編集後記

ミッショング インクラーシブ

梅田おにごっこ

2025.
10.4 (Sat)
10:00-16:00



**梅田スカイビル 1階
ワンダースクエアに集合！**



NPO ちゅうふホームページ
お申込みはこちらから

アクセス



100年に一度の大規模再開発が進んでいる梅田

今年の「おにごっこ」は、グラングリーン、KITTE 大阪、大阪駅西口など西梅田を主なエリアにして、まちあるき（ウォークラリー）です。昨年までなんばで7回実施、300~600人、障害のあるなしを問わず、誰もが楽しめるイベントです。

メイン会場は梅田スカイビルの1階広場のワンダースクエア。

受付が終わったら西梅田のまちを歩いてもらいます。並行してキッチンカー、フェイスペインティング、インクラスマスター・チャレンジ（福祉体験）コーナー、ミニコンサートを行います。

おにごっこですが、走りません

参加費：500円（介護者無料） 子ども（小中高）200円

主催：梅田おにごっこ実行委員会 共催：障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議 協力：アクセス関西ネットワーク

連絡先：Tel: 06-4703-3740 Fax: 06-6628-0271 (NPO法人ちゅうふ) ※今回の企画は三菱財團の助成金を活用しています

ストーリー

合言葉は ミッショニン インクルーシブ！

2025年 大阪・梅田は100年に一度とも言われる大規模再開発の真っ只中。
都市の未来を左右するこのタイミングに、障害のある人もない人も“本当に楽しめる街”をつくるため、注目が集まっている。

そんな中、バリアフリーの情報発信を担うAIロボット
バリバラちゃんが誕生！
大阪市と民間企業・株式会社DPIの協力で開発された彼女は、観光名所や便利スポット、バリアフリー情報を元気にお届けするはずでした――。

しかしある日、何者かの悪意により、バリバラちゃんが誤った情報を学習！
「新たなバリア」を次々と生み出し、ネットに拡散してしまったのです。
その結果、利用者からの苦情が殺到し、関係団体は大混乱……！
この危機を救うべく、立ち上がったのは――
障害のある人の自立と社会参加を応援する団体「NPO バリバリ大阪」の
トップエージェント インクル・ハント！
梅田を舞台に市民参加型のおにごっこ調査がはじまります！
さあ、あなたもバリバラちゃんに“ほんとうの梅田”を教えてあげよう！
まちを探検しながら、バリアフリーのヒントを集めよう！

ミッショニン インクルーシブ

梅田おにごっこ



梅田スカイビル って何? どうやって行くの?

9月上旬
ちゅうぶHPにて
バリアフリー
ルートを公開！

ワンダースクエアでイベントもりだくさん！

- 10:30 フェイスペインティング
~13:30 インクルマスター・チャレンジコーナー
- 14:00 ミニコンサート & お笑いライブ
- 15:00 表彰式とラストイベント

イベント時間は変更の可能性があります

参加者
特典

グルメ キッチンカーのお食事券
最新版 梅田バリアフリー・マップ

参加方法

梅田「おにごっこ」特設サイトのQRコードからお申込みください。
チームでご参加ください。(基本は4人程度。参加は1名から可)

企画内容

梅田周辺を中心とした、まちの探検(ウォークラリー) 10:00~15:00
チームで協力してミッションをクリアしてください。

当日の受付は10:00開始(11:00までに集合してください)

お問合せ

NPOちゅうぶホームページ <https://npochubu.com/>

梅田おにごっこ特設サイト 開設準備中

※雨天決行(台風など警報発令時は中止)



こうしょう がんば
オールラウンド交渉 みんなで頑張った！

おおさかふ わたし こえ き
大阪府は私たちの声を聴いてください



8月27日(水)、28日(木)の両日、障大連主催で大阪府とのオールラウンド交渉が開催されました。会場から障害者や支援者の切実な声が多く挙がり、とても熱心な話し合いが行われました。特に、ちゅうぶが発言した部分や、筆者にとって印象深い点を中心に報告します。(文責:ナビ 堀)(1日目)

権利の実現【差別解消】

会場の視覚障害者の方から相談支援専門員初任者研修において、教材の点訳やテキスト訳の依頼をしたが不十分な対応であったという発言がありました。障大連から委託事業者任せで本人にしわ寄せするのではなく、府も適切な支援を行い、情報保障を一層充実するように要望しました。

権利の実現【住宅の入居差別】

更なる啓発について障大連から求めました。府(生活基盤推進課)からは、チラシ作成したが、更にGHの啓発について内容やどんな場で行うのが適切か一緒に検討したいと回答がありました。また、府(居住企画課)からは障害者の入居差別の課題について、居住支援関係者を集めた場で啓発をするという旨、府(住宅経営室)からは入居者用の広報誌に啓発記事を毎年掲載し全戸配布するとの回答がありました。

権利の実現【旧優生保護法問題】

冒頭、障大連西尾代表から、この問題は健康医療部の範囲を超えてい、大阪府全体で取り組める体制をとってほしいと申し入れました。

その上で、堀からは、府の責任が重いことを指摘し、より効果的なアウトリーチ型の広報を実施するように、夢宙センターの岸本さんからは、知事が謝罪するべきであること、障害区分支援認定や要介護認定の更新時に広報をしてほしいと訴えました。

西尾代表から、残っている記録がない、国から指示がないなど、理由に、府の回答は「困難である」というばかりで積極的な取り組みを行う姿勢が見えない。障害主管課も、母子保健主管課も連携して、できることを、やるべきことをしっかり進めてほしいと強く求めました。



障大連 西尾代表

府は不幸な子どもを産まない運動で優生思想を広めた。
責任は重い。差別の中で孤立してきた被害者にどう補償を届けるのか。施設や病院に出向き担当者に被害者がいないか個別に照会し協力を求めるなどアウトリーチ型の広報をしてほしい。公務員の意識改革研修をやってほしい。(堀)

交通アクセス【無人駅問題】

会場からの発言が相次ぎました。

障大連からは、このままでは障害者が交通機関を思うように利用できず生活が狹まる、府も危機感をもって対策をとってほしいと強く申し入れました。

また、障害者の具体的な声を聞く場を継続的に設けてほしいと求めました。これに対して、大阪府(交通戦略課、建築環境課)から、「障害者の声を事業者に伝えるようにしている。事業者が参画するバリアフリー連絡会議に昨年度に続き今年度も当事者の声を伝えてもらう場を設ける」という回答がありました。

聴覚障害者はインターホンが使えない。モニターが付いているのに、筆談もしてくれなくて、大声で指示をされるばかりで困った。障害種別ごとの困りごとを学んで正しい対応をしてほしい。(松倉)



交通アクセス【大阪府福祉のまちづくり条例・ガイドライン】

発言を受けて、障大連から、車椅子席のサイトラインなどの問題についての条例での扱いについて引き続き検討するよう要望しました。また、トイレの扉が止まらない問題等の困りごとを含め障害者の意見を聴いて検討するように求めました。

さらには、車椅子席などせっかく整備したバリアフリー設備を利用させるべきという考え方をガイドラインに盛り込んでほしいと求めました。

これに対して、府(建築環境課)から、今年度予定しているガイドライン検討は十分意見を聴いて進めていきたい。ハード整備のために作ったものがうまく利用できるようにしっかり検討したいと回答がありました。

サイトラインを確保することや車椅子席をいろんな場所に選べるように条例に盛り込めるように検討してほしい。席があっても販売されないことがある。作られた車椅子席が実際に利用できるようにすべきことをガイドラインなどに入れてほしい。(森園)



なんば車椅子トイレ調査を実施した。結果、四分の一のトイレで、扉が一旦止まってくれずに、車椅子で使えない。万博トイレの一部もそうだった。トイレの扉を一旦止まるようにすべきことをガイドラインに書いてほしい。(安井)



介護ベッドの空白地帯をなくすために、公的施設は率先して整備してください。僕の身長では、介護ベッドは小さすぎます。もっと大きいベッドを作ってください。(眞野)

条例の改正でフラッシュライトが義務基準になります。私たちが使う身近な施設、例えば図書館、公園など大阪府が管理する施設には率先してフラッシュライトを設置してほしいです。(西川)

また、新築への介護ベッド整備拡充、フラッシュライトの新規整備義務化を受けて、公的施設は率先して既存建築物も含めて整備するよう求め、大阪府(建築整備課)は、既存の改善が進むようなやり方を検討していきたいと回答しました。

大阪府で現在、検討中の条例改正の内容(2025年改正、26年施行)

- 建築物のバリアフリー水準の底上げを図るため、[条例改正によりバリアフリー基準を見直し](#)

<主な見直し項目>

- 小規模店舗のバリアフリー化

▶条例対象規模の引き下げ(200m²以上 → 100m²以上)

- 共同住宅(駐車場)のバリアフリー化

▶大規模な共同住宅において幅の広い駐車区画の整備を義務化

- トイレのバリアフリー化

▶フラッシュライトの設置促進(10,000m²以上に設置義務化)

▶大人用介護ベッドの設置・設置を要する規模の引き下げ、複数設置化

○劇場等の客席のバリアフリー化 ※政令改正(R7.6施行)に伴う条例改正を予定(R6年度中)

▶総客数の0.5%以上の車椅子使用者用客席の設置を義務化

→ 資料2

- ▶令和7年度中の条例改正を目指す

交通アクセス 【当事者参画のガイドラン】

あるるの永谷さんから、「京橋地区の基本構想でコムズガーデンリニュアルについて十分に意見が聞かれなかった。当事者参画ガイドラインを踏まえ今後どうしていくのか」という発言がありました。これを受け、障大連から、単に事例集めでなく、再開発なども含め、どう参画していけるのか、府として方針を示すように検討してほしいと迫りました。これに対して、府(建築環境課)からは、どう取り組んでいけるのか考えてみたい。その検討も当事者参画で進めていきたいと回答がありました。

交通アクセス 【万博を機にまるごとバリアフリー】

会場から、万博で整備されたカームダウン・クールダウンルームを広げてほしい、また、街づくり組みについて精神・発達障害者の当事者参画を求める声がありました。障大連からは、万博の先進的な取り組みをどう日常に押し広げていくのか、カームダウンルームの拡充について検討するように求めました。また、障大連の西尾代表から、精神・発達、知的障害者の当事者が意見を言える場づくりについて検討してほしいとコメントがありました。



交通アクセス 【府営公園のバリアフリー】

大阪府営公園がバリアーで自由に利用できない問題について、障大連からすべての公園で時間制限なしに入りできる入り口を1か所以上確保する取り組みを歓迎するが、バイクの進入実績と天秤にかけられる怖れはないのかと質しました。これに対し、大阪府(公園課)から、社会実験から、1か所以上の入り口で本格実施を目指すが、本格実施の意味は「後戻りしないこと」であり、よっぽどの事故が発生するなどがない限り、搖らがないという回答がありました。

教育 【支援学校の増設問題】

会場から地域で共に育つ教育を求める声がたくさん挙がりました。障大連から、現状では普通の学校で障害児の居場所がない。支援学校の増設はやめてほしい。箱を作ると、今から何十年間も支援学校に行く状況を決めてしまうことになると追及してきました。これに対して、教育庁は国の設置基準を踏まえ、過密化狭隘化の著しい地区においては、整備が必要であると判断しているとの見解が示されました。障大連からは、支援学校が、子どもたちが地域の学校でふんばれるようにセンター的な機能を果たせるようになってほしいと求めました。

(2日目)

介護 【入院時のヘルパー利用】

会場から「入院時のヘルパーの話をしても制度を聴いたことがない、前例もないと言われた」「感染症対策を理由にヘルパー利用に30分~1時間と時間制限を付けられ、十分な介助が受けられなかつた」などの発言が相次ぎました。障大連から、病院のやり方を変えない範囲でしか対応しないでなく、ルールを必要に応じて変更するということが合理的配慮であると病院に周知してほしいと訴えました。大阪府(保健医療企画課)から、病院への立ち入り検査の機会に制度の周知を図るとともに、合理的配慮についても説明をしていきたいと回答がありました。

介護【就業支援制度】

就業支援があることで私のような筋ジスで重度の障害者が働けています。通勤支援では通勤時は1時間しか認められておらず、通勤時にトイレにいくと足らないです。柔軟に運用してほしい。就業の場も重度訪問介護で働くようにしてほしいです。(鶴羽)

就業支援制度利用のために自己負担額を払わないといけないのはおかしい。大阪府は重度訪問介護と、2重に自己負担額を負担しないといけない利用者に配慮するように、制度を運用する市町村に助言いただくようお願いします。(東) 代読 小坪



ちゆうぶの他にも会場から就業支援制度の問題点が多く出されました。(市町村が実施し、職場が申請しないと利用できないハードルがある問題。公務員対象外となっていること。市町村によって報酬単価に格差があって、安すぎるところは引き受ける事業所が増えない問題。就業支援制度の自己負担額を給料から支払うと障害者は最低賃金を下回るという問題など) 大阪府(自立支援課)は、どの地域でも使える制度にということは国に要望している。大阪市などの良い事例を国に積極的に紹介していきたいと答えました。



介護【大学修学支援】

会場から、進路が決まって制度が使えるまでに時間がかかり過ぎる。高校も大学も制度が分かっていない。利用に手間取ると両親が送迎という事例もあり、友達も作れないという問題提起がありました。これに対して、大阪府(障害福祉企画課)は前年度末に説明会を実施、年度初めにメール周知、6月に教育部局を通じ学校に周知している旨の回答がありました。

介護【長時間介護】

会場から、知的障害者にとっては、重度訪問介護は制度上対象となっていても使えない状況がある、重度訪問介護を使いたいし、時間を長くしてほしいという発言が複数ありました。また、堺市は利用にあたってのガイドラインの公表を拒んでいるという問題提起もありました。障大連は、知的障害者の障害の把握の仕方が医学モデル的になっていないか、知的の場合、生活環境や状況に基づいて判断してほしいと求めました。これに対して、大阪府(障害福祉企画課)は、ガイドラインを公表していない市町村には指導助言する。個々のケースに応じて、生活上必要な支援について勘案事項を十分検討の上、市町村が合理的な裁量を行うものであるが、利用意向についての適切に判断するように指導していると回答しました。

介護【移動支援】

障大連からヘルパー不足で派遣ができない状況がある、報酬単価の問題と一緒に考えてほしいと強く訴えました。それに対して、大阪府(地域生活支援課)は、重要な事業と認識している、人材の確保につながるように処遇改善の費用の確保が重要と認識していると回答がありました。



グループホーム【大規模化】

小規模の方が自分らしい生活ができる。大阪府はこれからも10人以下の定員を守ってほしいです。(枚島) 勝手に決めないでください。(山野)



グループホーム(以下 GH)が大規模になると施設と同じようになるという懸念の発言が会場からありました。障大連からは、10人定員を超えるGHの事例が複数あることを踏まえ、悪質なすり抜けへの対策を質した。それに対して、大阪府(生活基盤推進課)からは、市町村の会議を通じて、10人以下の定員で自分らしい生活が守られるようにするべきと指導していると回答がありました。



グループホーム【地域連携推進会議】

会場から、悪徳事業者対策のために、眞面目に事業をやっている事業者と、普通の市民として生活している利用者に大きな負担を強いているのではないかという発言が相次ぎました。特に当事者からは、「部屋を見られるのはプライバシーの侵害、会議に僕たちも入れてほしい」という発言がありました。障大連からは、悪質なGHと向き合うのは行政だけでは難しい、質の担保には当事者の声を重視すべきと、推進会議の代替策として相互支援の仕組みづくりを作った事例の紹介がありました。その上で、どう市町村と進めるのか質しました。それに対して、大阪府(生活基盤推進課)からは、「より良い暮らしのためのガイドラインは必要。不適切事例も含め当事者の参画しながら検討する場がいる。GHを地域で理解してもらうための検討が必要、意見もいただきながら一緒に考えていきたい。可能なら、ガイドライン策定に向けたワーキングを進めていきたい。」という前向きな回答がありました。

グループホーム【個別ヘルパー問題】

医療的ケアをしているので、個別ヘルパーがないと自分らしくいきていけません。3年ごとの個別ヘルパーの見直しはやめてほしい(青木)
個別ヘルパーを使って人生で初めての旅行に行きました。これからも使えるようにしてください。(逢坂)
個別ヘルパーの制度が恒久化されないのは今の生活が担保されてないということで
す。恒久化してください。(島袋) ヘルパーの代読



会場から、個別ヘルパー恒久化の訴えが多数ありました。大阪府(生活基盤推進課)からは、個別ヘルパーがなければ当たり前の生活ができないという現状を国に伝えたいと回答がありました。

地域移行

大阪市施設入所者地域生活移行促進事業に携わり、外出体験によって地域に興味を持つてもらうという意味では有意義だと思いました。大阪市のような事業を他市でも実施していただきたい。課題は、6ヶ月で終了し、移動支援事業につながらないことです。それも改善を働きかけていただきたい。(島岡)



会場から、まず、施設入所体験の当事者などから、施設生活とひどい現状と、地域生活とあまりにもギャップがあって、情報もなく、施設を出ることがイメージできなくなっている、地域移行の仕組みづくりが必要であるとの訴えが多くありました。その上で、障大連から、8市町で行うアセスメント事業のモデル実施について、このような声を踏まえて、本人の意向を聴くだけでなく自立生活プログラムとセットにした仕組みづくりや聞き取りへの施設外部職員の関与や、事業の展開に際して、自立支援協議会を巻き込むべきなど具体的な要望を行いました。大阪府からは、だれもが暮らしたいところで暮らすのが基本。アセスメントシートはツールでありきっかけであるので、これからしっかり事業を進めますと回答がありました。

ひなんしょけんがく　い 避難所見学に行ってきました！！

ナビの小坪です。自立支援協議会当事者部会の取り組みとして、東住吉区内の1次避難所である小学校に見学に行ってきましたので、報告します。今後も当事者として、防災の問題について、関わり合いを強めていきたいと思います。

＜自立支援協議会とは＞

ナビでは、区役所や社会福祉協議会、地域活動支援センター、区内福祉関係事業所等が連携して「住みやすい街づくりを進めていく」という目的で、東住吉区地域自立支援協議会を運営しています。東住吉区の地域自立支援協議会は、「相談支援部会」、「子ども部会」、「日中活動連絡会」、「居住系事業所連絡会」、「当事者部会」の5つの部会があります。

昨年度から防災の取り組みを実施！

昨年度の当事者部会で防災をテーマに研修会を行いました。東日本大震災の時に被災経験もある障害当事者の阿部さんを講師にお招きし、被災した時にどんな困りごとがあったかをお聞きしました。その取り組みを契機に、実際に災害が起きたときに避難する可能性のある小学校を見学したいと思うようになりました。

避難所の力ギは分散して保管

当日はまず校門前に集合して、区役所の職員さんに鍵を開けてもらいました。鍵は町会と区役所で複数で分散して管理しているそうです。

その後、区役所の防災担当者の方から色々、お話を聞きながら見学しました。

段ボールベッドが威力を發揮する

実際に体育館を見学し、避難生活のイメージを深めることができました。災害発生時は特に、暑さ寒さをどう凌ぐかが大きな課題になる事を痛感しました。



基本は、体育館で避難生活だそうですが、災害が発生した場合、全避難者分の段ボールベッドを避難所に1週間以内に届けてもらえるよう業者と東住吉区が独自に提携を結んでいると聞き心強く感じました。

東日本大震災などの前例からも、避難生活では段ボールベッドを使うことで、粉塵吸引抑制、低体温症防止、足音による不眠等の健康状態悪化を軽減し災害関連死を抑制することができ、自分の居住スペースを明確化できるのでプライバシー確保などの安心感につながるというお話を聞きました。

1次避難所から福祉避難所へ案内

また、要配慮者は、体育館でなく、多目的ルームなどの教室で避難生活ができるようにするというお話をしました。さらには、特別な福祉的な対応が必要な場合には、要配慮者の優先度を勘案して受入れ可能な福祉避難所へ案内をしていただけるそうです。

新築等では、車いすトイレや洋式トイレが充実

新築等では、車いすトイレや洋式トイレが充実しています。しかし、旧校舎では、まだ、和式トイレの割合が多い状況になっているそうです。大阪市全体では、順次、洋式化を進めていくという話がありました。また、トイレまで行くことが困難な方のためにテントの中にトイレを設置するなど、簡易トイレの設備も準備されているそうです。



車いすトイレに
オストメイト設備
もありました

市民一人一人の備えが大事

学校の教室の一角に備蓄倉庫がありました。大和川の決壊も想定して、上階に設置しているそうです。備蓄品は避難者の3日分程度しか保管場所がなく、大阪市、大阪府全体の備蓄品から日々補給される仕組みになっているそうです。
区の防災担当者の方から、最低でも1週間分、市民一人一人が水や食料の備蓄をしてほしいというお話をがとても説得力がありました。持病の薬の備えなどはとても大事だと思いました。



水や毛布が保管してある備蓄倉庫

避難所は自主運営

避難所は、学校や行政だけが運営するのだと思っていたが、そうではなく、開設は行政がされますが、運営は、学校と行政と避難している方が運営組織を作つて自主運営を行うそうです。

<避難所見学を通して感じたこと>

台風や地震などの自然災害がいつ起こるか分からない中で、実際に災害が起こった時に避難所が利用できるのかという思いがあったので、実際に避難所となる学校を見学できて、様々な気づきがありました。

改めて自助・共助を意識して自分が住む地域(町会)の方と普段から顔が見える関係になることや自分自身の防災意識を高めて足りない防災物品を買いそろえるなどやらないといけないことが明確になった気がします。たくさんの方々の協力で貴重な機会を作つていただきありがとうございました。

かいすいよく わん ら ぶ つー ねんうみきかくほうこく オニたちの海水浴～ONE LOVE 2～2025年海企画報告

ぶんせき あお うえだ
文責 青おにスタッフ上田

今年も須磨ユニバーサルビーチプロジェクトさんの協力の下、2025年8月1日に赤・青おに海企画で、須磨海水浴場に行ってきました。

■開催までの経緯

海企画2日前にロシアのカムチャツカ半島付近を震源とする地震により、津波警報が発令。一時は21都道府県、229市町村の約201万人に『避難指示』が出され、海企画どころではない状況でした。

「せっかくここまで準備をしたのに…」「注文していたみんなのサンドイッチはどうする?」「普段通所しない人で、海レク参加予定だった人の扱いはどうする?」「延期にするならいつにするか?どの日も予定が埋まっている…」など、担当者間で残念な気持ちと判断の迷いがありましたが、翌日までの間に警報は解除。それと合わせてメンバー・スタッフへの意向確認、上司や須磨ユニバーサルビーチプロジェクトさんとも相談した結果、予定通り開催することに。

■須磨ユニバーサルビーチプロジェクトについて



『生の感情を原動力に、言葉では表現できない経験をしてほしい。』
代表理事の木戸俊介さんが交通事故により感覚を失ってしまった下半身のリハビリのため
にオーストラリアで、ビーチマットに出会ったことが活動に取り組
むきっかけとなったようです。ちゅうぶとは2017年からお世話
になっています。

■ユニバーサルビーチのアイテムたち(参考:須磨ビーチプロジェクトHP)

- ・ビーチマット～砂浜の上に敷くマットで、このマットを敷くと電動車いすでも砂浜を移動できて波打ち際まで行けます。ビーチ以外にも、畑や神社(玉砂利)など車いすやベビーカー、バギーなどで通行が可能になるマットです。
- ・ヒッポキャンプ(水陸両用アウトドア車いす)～ユニバーサルビーチにまた、山登りや、木登りも可能してくれる、ユニバーサルアクティビティに欠かせないアイテムです。
- ・須磨ユニバーサルビーチベース～夏の海水浴期間、障害のある人が無料で利用可能な更衣施設です。多目的トイレ・シャワー室・更衣ベッド・更衣スペースがあります。



■当日の様子

車椅子ユーザー14名、介助者スタッフ20名、総勢

34名で海水浴をしました。

当日の神戸市の最高気温は35℃。昨年快適に過ごすことができた須磨ホールは予約が埋まっていたため、代わりに公園の一部スペースでタープテントを設置。貸出コンセントから電源を確保し、サーチュレーターを稼働することで暑さ対策を取りました。途中、かき氷作りもあり、なんだかフェスのような雰囲気でした。

赤・青おにメンバーは昼食のサンドイッチを頬張った後、須磨ユニバーサルビーチプロジェクトのスタッフさんのサポートの下、続々とビーチマットから海に突入。普段なかなかない機会に興奮するメンバーもいれば、浮き輪やライフジャケットを使用して海に気持ちよく浮かんでいるメンバーや海辺で足だけ浸けるメンバーもいたりと、様々でした。



■参加者からの一部感想

- ・20年ぶりの海水浴は最高でした。来年もぜひ入りたいです！
- ・吸引機を使っている人で海に入ったのはちゅうぶ史上私が初だった(はず)！普段使っている大きい吸引器は落とすと怖いから、小型吸引機で工夫して海に入った。私でも海に入れたことをみんなにも知ってほしい。
- ・10年振りの海でした。みんなで海に入って元気になっている様子は私が入職する前にイメージしていたちゅうぶでした！
- ・介助していた障害者メンバーにずっと水鉄砲を顔にかけられていきました(笑) 本人はコロナ禍以来の海企画ですごく楽しそうでした。

■担当代表の上田から海企画を終えて

・ビーチマット設置について、現地のボランティアスタッフ含め8名がかりで設置作業を行いました。ビーチマットが思っていた以上に重かったことや、砂浜を慣らす作業、マットのピン留めなど、とにかく準備が大変でした。設置している様子を一部撮影していましたが、その後にスマホが水没してしまい、データを紛失…設置作業の様子を知る・知らないでは須磨ユニバーサルビーチプロジェクトさんへの感謝の気持ちが大きく変わってくると思いました。



・健常者にとっては気軽に楽しめる海水浴。この企画の準備は大変ではありましたが、障害者・健常者問わず、みんなで海水浴を楽しめるのはすごく大事なことであり、今後もぜひとも繋けたいです。みんなのエンパワメントに担当一同もエンパワメントされました。



・私たちの活動にご協力、様々な配慮をしていただいた須磨ユニバーサルビーチプロジェクトの皆さん、参加してくれたみなさん。本当にありがとうございました。



(2025年9月号)

ナビゲーション navigation

じりつ みち あん ない
自立への道案内

NAVIGATION



おおさかしやこじまく じりつせいかつ ほうもん
大阪市都島区にある自立生活センター・あるるを訪問させていただきました！

もくじ

●自立生活センター訪問へしました！	2
●クリニック調査始めました！第2弾	4
●おすすめのお店紹介します！	6
●筋ジス病棟オンライン交流会について	7
●編集後記	8

じりつせいかつ ほうちん 自立生活センターへ訪問しました！

じりつせいかつ ～自立生活センター・あるのみなさん～

みなさん、こんにちは。ナビスタッフの森園です。このたび、インタビュー企画を始めることにしました。自立生活センターの障害当事者スタッフの方々に、自身の障害のことや、スタッフになるきっかけ、仕事の内容、スタッフとして大事にしていること等を聞いていく企画です。今回は、大阪市都島区を中心に活動されている自立生活センター・あるのみなさん(中塔さんを中心)にインタビューさせていただきました。

○インタビューさせていただいた方々

なかとう まさひろ 中塔 昌宏さん(57)…頸椎損傷

いわした あや 岩下 彩さん(38)…脳血管障害(中途障害)

ながたに ともひろ 永谷 朋裕さん(29)…脳性麻痺

○趣味はですか？

・中塔さん…外に出て知らない道へ入っていくことです

・永谷さん…ボードゲームとカードゲームが好きです。

・岩下さん…ガチャガチャとクレーンゲームが目的で、梅田とか大日へ行きます。

○中塔さんが自立するきっかけと自立生活で楽しいことを教えてください。

・中塔さん…当事者の集まりに参加したり、自立生活センター・ムーブメント(大阪市天王寺区)の渕上さんとの出会いが大きかったです。僕より重度の人が自立していて自分が自立しない理由にならないと思いました。自立生活で楽しいことは、一人で計画を立てて自分のやりたいことをヘルパーの手を借りながらできることが楽しいです。

○障害者運動を始めたきっかけはなんですか？

・中塔さん…あるが運動をしている団体とは知りませんでした。行政サービスは勝手にもらえるものだと思っていたが色々な人が関わって出来ていることを知りました。声をあげて自分のことだし大切だと思ったのがきっかけです。自分の生活でモヤっとすることもあります。常に介護者が傍にいてありがたいけど、一人で気楽になりたいこともあります。

・永谷さん…実際に関わったのは大阪府や大阪市の交渉で、当事者が行政に訴えている気持ちの力強さに圧倒されました。すごい世界だと思いました。



・岩下さん…自分自身が大阪市更生療育センター(大阪市平野区)(以下:センター)にいる時、あるるに自立支援で関わってもらえたのが、きっかけです。何も知らないまま、あるるに関わるようになったから「こんなことしてたんや。」とか発見のほうが多かったです。センターの先生が重度訪問講座に来ていて、あるると繋いでくれました。ピアカウンセリング講座に繋がったのが最初です。その時は自立する気持ちはありませんでしたが、ピアカウンセリングをしていく中で自立してみるという話が出てきました。私が自立に興味があったとわかった上で声をかけてくれました。

○中塔さんが担当されている業務はなんですか？

・中塔さん…作業所の専属スタッフです。作業所メンバーのサポートをする役割をしています。一緒に活動したり考えたり時々、自立生活センターの活動もします。僕自身がメンバーの身体介護などをできるわけではないので、メンバーさんもできることはあるけど、一人では難しいことや、何か表現したり伝えたりするとき自分の意志を 100 %自分で伝えられない時にその人の意図を引き出せるよう、代わりに伝えるなどおサポートしています。外出の時であれば、目的地までの行き方の提案や先導したりします。それとか、駅員さんに乗り換えの手配をしたり、事細かいことが多いです。



○作業所メンバーから自立生活センターの当事者スタッフになるという仕組みは、いつ頃から始まつたんですか？

・中塔さん…岩下さんも少しだけ作業所スタッフだったんです。
・岩下さん…最初、作業所のメンバーでスタッフと掛け持ちしていました。作業所にも当事者スタッフがいた方がいいし、当事者にしかわからないこともあると思います。健常者スタッフに上手く伝えられないことがあるでしょう。そんなことがあるから、あるるでは、けっこう前から当事者スタッフという仕組みを作っています。人材不足ではありますか、事業所を円滑に回すために一人はいた方がいいと思います。



ちょうさはじめ クリニック調査始めました！ 第2弾

前回に引き続き、大阪市東住吉区内のクリニック調査をしました。今回、調査させていただいた、こどもとかぞくの整形外科クリニックと、てらだ内科皮フ科クリニックを紹介します。

病院名	こどもとかぞくの整形外科クリニック
診療科目	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、小児整形外科
住所	大阪府東住吉区今川3-12-12 クリニックモール 今川1F
バリアフリー状況	病院の入り口は自動ドア。 受付・診察室は1階。リハビリテーション科は3階。 (エレベーターあり) 車いす対応トイレあり
連絡先	TEL 06-4392-7033
ホームページ	https://seikei-yoshida.com/
診療時間	9:00~12:00 月、火、水、木、金、土 16:00~19:00 月、火、水、金 水曜・土曜午後は休み、日曜・祝日は休み



ちゅうぶの障害者も何名か通つ
ています。

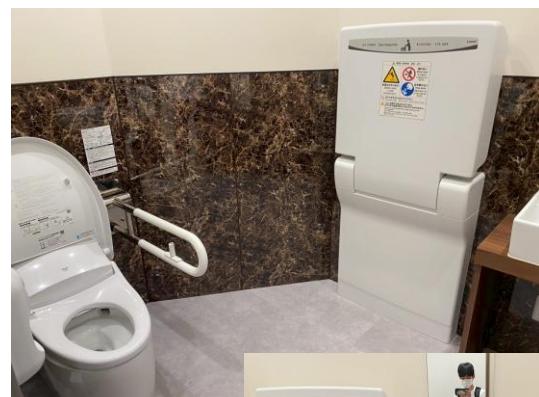
3階 扉を入れると、リハビリテ
ーション科があります。



病院名	てらだ内科皮フ科クリニック
診療科目	内科、呼吸器内科、アレルギー科、皮膚科、美容皮膚科
住所	大阪府大阪市東住吉区中野4-16-19
バリアフリー状況	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関自動ドア 90cm ・診察室入り口引き戸 90cm ・車いすトイレの状況 引き戸 80cm。手すりはね上げ式。洗面台の蹴りこみの高さ 61cm。洗面台までの高さ 80.5cm。ベビーベッドあり
連絡先	TEL 06-6769-4159 Fax 06-6769-4160
ホームページ	なし
診療時間	<p>内科・呼吸器内科・アレルギー科 9:30~12:30 月、火、木、金、土 13:00~15:00 (訪問診療) 月、火、木、金 15:30~18:30 月、火、木、金、土 (14:30~17:00) 皮膚科・美容皮膚科 (完全予約制) 9:30~12:30 火、木、金 12:30~14:00 火、木、金</p>



去年、開院した新しいクリニック



多目的トイレ

車いすが入れるスペースがあります。



みせしょうかい

おすすめのお店紹介します！

カフェレストラン&キッズカフェ 7kuma cafe

住所：大阪市東住吉区杭全7-10-14

営業時間：9:00～17:00

定休日：日曜日

電話番号：070-8500-6879



なんばん
チキン南蛮セット

ころも
衣がサクサクでボリ
ュームがあり、大満足
でした！！

こんかい ねん がつ にち きん あんど ななくま かふえ
今回は、2025年5月23日(金)にオープンしたカフェレストラン&キッズカフェ 7kuma cafe

についてご紹介します。

ちょうさしゃ かんい でんどうくるま
調査者：簡易電動車いすユーザー（ヘルパーつき）



お店の外観



スロープがあり、入りやすい

ざせき せき
座席は、テーブル席が5席、カウンター席が6席あります（テーブル席、カウンター席とも椅子を動かせ
ます。）料理の予算は、ランチセット980円～です



お店入り口(幅:127cm)



店内(テーブル席)

てんない くるま いす ふくすうだいはい ひろ
店内は、車いすが複数台入れるほど広いです。お店はスロープもあり、店員の車いすの方への対応
が素晴らしいかったです。また行きたいと思いました。

筋ジス病棟オンライン交流会について

今回、ちゅうぶ筋ジス会のメンバーで「筋ジス病棟オンライン交流会」に参加しました。

7月23日(水)は「フリートーク」というタイトルでした、普段生活している中で、トイレ事情（例えば排泄回数やポータブルトイレを設置してどう変わったのか？）など、普段話せない内容まで話すことができ、とても有意義なテーマでした。

8月20日(水)のタイトルは、「みなさんのライブ経験も聞かせて」というテーマでした。参加者は、野球観戦やサザンオールスターズ、上地雄輔など様々なライブに行っているという話をしていました。

私自身の話ですが、野球観戦が好きなので、甲子園球場に行きました。

甲子園球場には、過去に何度か行ったことがあります。球場のスタッフはすごく親切でした。ただ、不思議なことがあって、帰ろうとした時に後列にいたファンの方が近寄って来てくれて、ヘルパーさんと一緒に下り坂を私の身体を支えながら介護を手伝ってくれました。

その後、ファンの方に聞いてみると、その方は、ヘルパーをやっているそうで、話を聞いたら「困ってそうに見えたので、手伝いました。」と話をしてくれて、人の温かさに触れることができたエピソードでした。

【筋ジス病棟オンライン交流会の感想】

地域で過ごしている筋ジスの方や病院で暮らしている筋ジス同士が繋がることが少ないので、今回は、「みなさんのライブ経験も聞かせて」でしたが、上地雄輔のライブなど私が経験したことがないエピソードなどが知れました。今後とも参加して色々なテーマで意見交換したいと思っています。

【筋ジス病棟オンライン交流会の説明】

筋ジストロフィーの方は、病院で暮らしている方が多いです。その方たちが例えば「一人暮らしをしたい」と思った際に、病院だと難しいので、この交流会で一人暮らしをしている人に生活の様子を聞いたりする会です。また、病院から地域に暮らせるように支援などに取り組んでいます。 【文責：鶴羽】

※ちゅうぶ筋ジス会には、ナビスタッフの山下も参加しています。山下は二分脊椎という障害です。白頃、赤おに、青にに通っている筋ジスのメンバーとお話しすることができますが、筋ジスならではの話を聞く機会がないので「防寒対策のこと」や「ゲームの操作方法」など勉強になることが多いです。これからも、みんなをサポートしながら筋ジス会を盛り上げていきたいと思います。 【山下】

へんしゅうこうき
編集後記

みなさん、こんにちは。今回のナビゲーションはいかがでしたか？編集して改めて『繋がること』は大切なと思いました。『他団体との繋がり』『当事者同士の繋がり』『地域との繋がり』どれも生活していく中で欠かせないもの。日頃から、近所の人と挨拶するなど、身近な繋がりから大事にしていきたいです。

【やました】

●各団体で企画しているものがあれば、当センターが発行している機関誌ナビゲーションに掲載してみ

ませんか?
けいさい さい かくきかく と あ とう ちょくせつ かくだんたい ねが とう
掲載する際、各企画のお問い合わせは当センターではなく、直接、各団体にお願いいたします。当セ
ンターにお問い合わせいただきましても、お答えいたしかねますので、ご了承ください。

●みなさんからのご意見、ご感想をお待ちしております。記事に対するご感想、日ごろ感じておられる
疑問、こんな情報を知ってるよなど、なんでも結構ですので下記の連絡先までお寄せいただければ幸い
です。また、突然、取材にお伺いさせていただき、ご迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが、
その際には、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

わたし かんが じりつ
わたしの者こそ「白上」

☆私たちの考える「自立」は…

はたら かね かせ こと み まわ せんぶじぶん で き こと じりつ
働いてお金を稼ぐ事や身の回りのことを全部自分で出来るようになる事、それだけが「自立」でし
たいせつ こと ひと て か き も う ま つた
ようか？もちろんそれも大切なことですが、できない事は人の手を借りたり、気持ちを上手く伝えら
なかま ひとりひとり せいかつ つく じりつ
れないときには仲間にサポートしてもらったりしながら、一人一人の生活を創っていくことも「自立」
いろいろ ほうほう てつだ かんが
であり、色々な方法でお手伝いしていきたいと考えています。

ちいき しょうがいしや じりつ じつげん みちあんない たと かいご
☆地域で障害者の自立を実現していくための「道案内(ナビゲーター)」として、例えば「介護してくれる人を探しているんだけど?」「家中をもっと使いやすくしたいけどどうすればいいの?」そして「自立したいけど自分には無理かな?」自立生活センター・ナビでは、こうした障害者や家族の悩みや相談について、障害を持つピアカウンセラーが同じ障害者の立場でお話を伺い、制度の説明や申請のお手伝い、住宅改造などのアドバイスをさせていただきます。その他、電動車いすで街へ出かけたり仲間と一緒に料理を作ったり地域で生活していく上で必要なことを、楽しみながら経験できる「自立生活プログラム」や、自立生活に関わる各分野の方々をお招きしてお話を伺う「自立生活セミナー」の開催、情報誌「ナビゲーション」の発行も行っています。

はっこう じりつせいかつ
発行 自立生活センター・ナビ

でんわ 06 (6760) 2671

おおさかしひがしうみよしくにしいまがわ

ファックス 06 (6760) 2672

うめだ 梅田おにごっこ

あなたの「わかんな~い」に答えます。

Q : ウォークラリーは何時間かかる？

⇒ A B C D、4コースあり。各コース45分程度です。全部回っても良いし、2つや3つでもOKです。途中でランチもとってくださいね♪

Q : ウォークラリーでスマホは使いますか？

⇒ LINEを使います！LINEのおにごっこアカウントに登録する
と、
クイズが出題されます。



Q : お昼ごはんを食べるところはありますか？

⇒ 「うめきたグリーンプレイス2階」フードコートが近くでリーズナブル。天気が良ければ、うめきた公園の芝生で弁当を食べるのもあります。スカイビルB1階の滝見小路は飲食店街です。
周辺に店はたくさんありますが、比較的お高めです。

Q : キッチンカーのメニューは選べる？

 ⇒ 参加費お支払いの方にはキッチンカーチケット1枚をお渡します。メニューは「クレープ、ハンバーガー、サーティアンダギー」3種類の予定ですが、3店の共通券で、300枚程度準備します。売り切れ御免！

Q : 1人、2人でも参加できますか？

⇒ O K ! お薦めは1グループ4人程度ですが、何人でも大丈夫。他の参加者と合流も楽しいかも★

Q : スカイビルにバリアフリートイレはありますか？

⇒ B1階(滝見小路)、3階、39階、40階にあります。スカイビル上階のトイレは少し使いにくいのですが周辺の新しいビルや駅には多数あります。当日にトイレマップ配布予定！

Q : ウォークラリー以外に何がありますか？

⇒ 受付近くでは10時～13時半までフェイスペインティング、IMC(福祉&障害体験コーナー)。
14時からはミニコンサート&お笑い企画。15時～ラストイベント(表彰式込)あり。



Q : 雨が降ってもやりますか？

⇒ 雨天決行ですが、台風などで警報が出れば中止します(前日17時に判断し、HPに掲載)。

Q : 参加申し込みの締め切りはいつ？

⇒ 9月30日(火)です。飛び入り参加も可能ですが、準備の都合上お申し込み頂けると助かります。
申込はチラシ(2ページ)のQRコード又はちゅうぶHPらどうぞ！ 最新情報は随時HPに掲載！

その他、分からることは遠慮なくお問い合わせください⇒NPOちゅうぶへ電話、メールで！

TEL:06-4703-3740

メールアドレス : chubu@npochubu.com

障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム 学会の全国大会に行ってきました！

グループホーム・リオの関野です。今回、初めて日本グループホーム学会の全国大会(7/12~7/13)に行ってきました。その模様をかいつまんで紹介します。

そもそも今回、何故グループホーム学会の大会に参加したかというと、大阪以外のグループホームさんとの繋がりを作りたいと思ったこと医療的ケアをしている全国のグループホームさんと繋がりたいと思ったことが主な理由です。今回は、徳島県でとのことで、和歌山港からフェリーで四国に渡って行きました。



当事者も参画

日本グループホーム学会では、入居者員会という当事者の会が東京・神奈川と徳島にあり、今回の大会は、徳島入居者委員会の方たちが中心となって作っています。実行委員長も当事者の方です。ピープルファーストの大会などにあまり参加した経験がないので、まずそこには驚いていました。ロビーでは物品販売をしていて、当事者の方がいきいきと働いている姿がありました。

<大会1日目>

虐待を受けるのは我々の世代で終わらせたい

1日目は当事者が語るセッションの日で、国連の総括所見の話、虐待の話、自分たちの暮らしの話をしてくれました。特によかったのは虐待の話と自分たちの暮らしの話で、虐待の話は、当事者だからこそ真に迫る話でした。印象的な言葉があって、これは登壇者ではなく、長らく精神病院に入院の経験のある会場の方の発言なんですが、「虐待を受けるのは我々の世代で終わりにしたい」と発言されたのが、すごく心に刺さって、本当に身の引き締まる思いで登壇者の方の言葉を聞かせていただきました。

自分たちらしい暮らしの話

自分たちの暮らしの話では、グループホームに入った若い当事者。結婚してグループホームで生活されている方、ワンルームタイプのグループホームで暮らし



ている方。三者三様な自分たちらしい暮らしの発表をイキイキとされていて、聞いているこっちまで元気をもらえるような、とても素敵なシンポジウムでした。

グループホームでの結婚生活

特に感銘をうけたのは結婚してグループホームに住んでいる方の話でした。

以前、北海道のグループホームで入居者同士で結婚する場合、子供ができない手術を受けてもらうと施設側が言ったという問題があつたのを覚えておられる方も多いと思います。この時は、子供を産む権利を現代でも奪っているのか?っと憤ったと同時に、グループホームの入居者同士で結婚する方もいるんだつという素朴な驚きを感じた事を覚えています。当たり前の話だと思うんですが、周りにそういった方はいらっしゃらないので、(というか聞いたこともない)考えたこともなかったです。

今回実際に結婚してグループホームで暮らしている方の話を聞いたんですが、それがめちゃくちゃ面白いし興味深い。家事をしない夫にもう限界ですと爆弾発言する妻。二人で旅行に行った時の話。あれ?これって現在の閑野の暮らしと一緒に感じて(僕は現在は家事ちゃんとしてますからね(笑))、今まで遠い遠い所の話だと思っていたのが、とても身近に感じて。こういうグループホームの暮らし方もいいなっと素直に感じました。

改めて当事者の暮らしのバリエーションが多いことに気づかされて、自分たちが思い描く自立した暮らしの姿が、幅の狭い視野で思い描いていたなど気づかされました。



<大会2日目>

入居者を巻き込んで参加したい

2日目は、支援者用の研修会と当事者の交流会に分かれました。

当事者の交流会とても楽しそうだし、そっちに行きたい!という気持ちを押し殺しつつ支援者の勉強会の方に…。

冗談はさておき、こういう全国の当事者同士が集まって交流する機会は本当に貴重だなと思いました。行けばそうなら交流会だけでも入居者の方を巻き込んで参加もいいなと思います。

勉強会の方では意思決定支援の事、地域連携推進会議の事、長期入院された方の地域移行の実践の話、東大阪の創思苑の方たちの取り組み発表の4本立てで、どれも勉強になる話ばかりでした。特に意思決定支援の話と創思苑の方たちの取り組み発表が色々と考えさせられました。

意思決定支援について、ちゅうぶで考えていきたい

意思決定支援の話の内容は、長生村子殺し事件についてというテーマでした。詳しく話をすると、すごいページ数になるので、割愛して書きますが。虐待(首を絞めたりもしていた)を親から受けている障害者がショートステイ(避難先)から、本人が帰りたいと言っている。本人がそう言っているのだから家に帰した。結果、親が子供を殺してしまった。という事件です。

この事件の問題は複数あると登壇者はおっしゃっていて、一つは関係者全員が意思決定支援を勘違いして

いる事。意思決定支援とは、当事者の意見をそのまま受け入れる事だけではなく。中心は当事者だが家族も関係者もみんなが一緒に考えて行くものだと登壇の方はおっしゃられて、その通りだと感じた事と同時に、我々も今回の関係者と同じように判断してしまった所もあるんじゃないかな?と自分の支援に疑問をもちました。

自分の支援を振り返れる興味深い話だったなと思います。意思決定支援は「ちゅうぶ」だからこそ、みんなで議論していく必要がある課題だと思います。まだまだ、このセッションについて話したい事がいっぱいあって、色々な感情を文章にしたい気持ちもあるのですが、またの機会に…。

創思苑の当事者参画の取り組み

東大阪の創思苑の方たちの取り組みは、かえる会という取り組みです。これは、法人運営の意思決定に当事者が入っていくという活動で、創思苑さんでは2001年から取り組みを始めてこられ、法人の理事や評議員に当事者の方がなられているし、職員の面接や研修も当事者が参加されています。

「ちゅうぶ」は当事者スタッフの方が何名もいて一緒に働いていますが、創思苑さんのかえる会は、当事者スタッフがというよりも、法人のサービス利用者(主に通所メンバーなど)が法人運営に携わる、利用者と支援者の垣根を超えた取り組みのように思いました。



自分が考えられる立場になること

当事者でもある登壇者の言葉で、「創思苑に来るまでは色々な事を決められないと思っていたけど、自分が考えられる立場になる、健常者と関係が逆転する感覚を経験できる。それによって当事者と支援者がこれまでとは違う新しい関係をきづいていける」とおっしゃっていました。

土壤をつくり、発言できる当事者を作っていくこと

「健常者との関係が逆転する感覚を経験できる」、「当事者と支援者がこれまでとは違う新しい関係をきづいていける」、当事者の方のこの2つの言葉がとても重要で、今の「ちゅうぶ」に登壇の方と同じようなことが言える利用者はいないし、そう言えるようになるための経験ができる土壤は残念ながらないと思いました。



もし仮に、この難しい問題に向き合う人が多くなって、この2つを経験できる土壤を作り、登壇者と同じような事を口に出して言える当事者が増えたら「ちゅうぶ」は、もっと素敵なものになるのではなかろうか?そんな予感をする取り組み発表でした。

文責 グループホーム・リオ 関野

にしかわけいお ゆーえすじえい 西川K男のUSJミニオンハチャメチャミッショントリビュート

・調査日時7月14日 昼頃。調査員 西川和男・濱田ヘルパー
・私の障害について：脳性麻痺、聴覚障害・手動車いす利用
ユニバーサルスタジオジャパンで2025年7月11日から始まった新アトラクション【ミニオンハチャメチャミッショントリビュート～大悪党への道～】のバリアフリー調査を実施しました。障害があっても大悪党になれるか！？



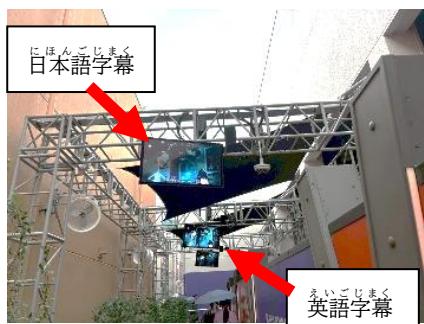
■アトラクション基本情報

所要時間 約7分

タイプ：ムービング・ウォークウェイ式シューティングアトラクション
このアトラクションは、ムービン・ウォークに乗りブラスター（銃）を持って画面にうつる目印に向かい撃ちまくるアトラクションです。



■主な調査項目：聴覚障害者への情報保障、段差など物理的バリア、車いすの種類によっての利用制限



■聴覚障害者への情報保障

・待ち列のモニターでは日本語字幕、英語字幕のそれぞれのモニターがあった。モニターの位置は高く、見上げてみる必要あり。字幕の大きさは小さい。私が行ったときは歩きながらの状態なのでほとんどの字幕はみることはなかった。
・アトラクション内、銃声の電子音や音楽がながれている。特に言葉はないので、字幕などは無し。

・テーマパークでよくあるのが、待ち列やアトラクション内のモニターでアトラクションの説明映像が流れているが字幕が付いていないことが多い。以前のUSJは英語字幕のみのだった。日本語字幕が付いたのは良かった。

■アクセシビリティ～段差など物理的バリア

待ち列には柵がある通路があります。幅は測れていませんが余裕をもって通れました。

入口→待ち列→アトラクション内まで段差はなく、スムーズに移動できました。

待ち列からムービン・ウォークに乗る場所も段差はありませんでした。駅・空港などのムービン・ウォークと同じ様なもので





■車いすの種類によって利用制限があるか？（受付のスタッフに質問）

- 電動車いすはU.S.Jが用意した手動車いすに乗りかえる必要あり。理由はムービン・ウォークの重さ制限があるとの事、重さの上限について受付スタッフは把握してませんでした。
- 手動車いすでも幅122cm、長さ122cm以上はU.S.Jの車いすに乗り換える必要。
- 簡易電動に関しては、スタッフに伝わらないので、簡易電動の人が実際に行ってみないとわからない。



■ムービン・ウォーク内の状況

- ムービン・ウォークに表示されている赤マーク、青マークがあり、基本的にマーク上でプレイする。車いすユーザーもヘルパーも指定された場所でプレイする。（歩行者と同じ）
- 手動車いすは所定の位置でブレーキをする。
- ムービン・ウォークにはくねくねしたカーブがあり、カーブを曲がるときに車いすの前輪もくねくねするので、濱田ヘルパーに方向調整をしてもらった。
- 電動車いすの場合は、くねくねしたカーブで、どういう動きになるかは気になる所。
- イリミネーターと言われるの銃の重さは1kgぐらい。
- 私は四肢に強い麻痺があるので、銃を打つときは濱田ヘルパーにサポートしてもらいました。



■感想

私は手動車いすだったので、スタッフと交渉することもなく、スムーズに利用できた。ムービンウォークでアトラクションを進むので、自力で動けなくても楽しみやすい。
イリミネーターの重さや打ちやすさに工夫があれば、もっと楽しいかもしれない。
ぜひ、電動車いす、簡易電動車いすの人にバリアフリー状況を確認してもらいたいです。
私は元々、大悪党だが、このアトラクションで大悪党のボスになれました。みなさんも大悪党になって、どんどんU.S.Jにハチャメチャに突撃してください。



なつまつかいさい おにの夏祭り開催しました！！



みなさん、こんにちは。通信記事を書くのは2回目の青木良です。
去る、2025年8月22日(金)に【おにの夏祭り】をやりました！

<より心豊かな生活と暮らしやすい地域づくりをテーマに>

夏といえばお祭り！しかし…障害があって、ひとりではなかなかお祭りに行けない・ハードルが高い！行くのが難しい人もいる。じゃあ、障害者が楽しめるお祭りをちゅうぶでやってみよう！！せっかくやるなら地域の子供たちとも交流したいよね！！！という考えから、『より心豊かな生活と暮らしやすい地域づくり』というテーマを掲げ、いざ！夏祭り企画始動！！

最初は無事にできるのか不安でしたが、メンバーとスタッフとも相談しながら祭りの準備から開催まで無事にやり遂げられました(^-^)

<担当した射的コーナー>

今回僕が担当したのは射的コーナーでしたが、もともとモノづくりが好きで、射的を1から作って準備をするのは自分に向いていると思ったので、立候補しました。

射的のお店の看板にこだわりすぎて、準備の段取りや優先順位がわからなくなり、後半焦ってしまいました。祭りまでの最終週は通所日全日を射的コーナー制作に費やすことに…早い段階でやることは決まっていたので、時間を逆算して段取りを組み、余裕をもつてやりたかったなあとと思いました。次に活かす…！！！



<地域の子供達や他事業所の利用者も来場>

当日は地域の子供や他事業所の利用者さんがたくさん来てくれて、とある子供はポケモンカードがもらいたくて射的を7回ほど遊んでくれたりなど、それなりに楽しんでくれていたので、おにの夏祭りやってよかったです！！

と思いました。もちろん僕も楽しみましたよ～!(^^)！

縁日はちゅうぶスタッフの有志で家にある使わない物(ぬいぐるみやポケモンカード、ラジコンやポスター・お菓子など)の景品がたくさん集まり、遊んでもくれた人に配ったり、糸引きで当たったもの(ハズレなし)で持って帰ってもらえるようにしていました。☆彡

ちなみに僕も縁日パスポートを150円で購入して糸引きをすると…な、なんと一番のあたり景品だったハイエースのラジコンが当たり～！！(本当はレクサスのラジコンが狙いやったけど、そのことは墓場までもって行こうっと)

80個近くあった景品も15時に終わった頃には残り20個まで減っていて、みんなが遊んでくれたんだなあと実感★ハッピー☆

<大きい企画の担当をしてみて>

今回大きい企画を担当してみて、やりがいがあったなあと感じています。(一部のメンバーは、しかめつ面で制作に励んでいたので『楽しいデスカ？』と声をかけると『楽しいよ』と答えてくれているものの、口元は怒っているように見えたでした(笑))



ことし
今年の、おにわ 4階と屋上を使っての祭り企画・来年もやるなら屋上は暑すぎて無理やから使わん方向でお
なの もう 頼み申します～（‘；’）

<担当してくれたメンバーの感想>

ほか さんか 他に参加してくれたメンバーの感想も載せたいと思います！

・『カフェをやっている近くの就労支援B型の事業所の方にも来てもらったので祭り後の週末にカフェに行くと、「楽しかったです。またあつたら呼んでください」と言ってもらえたのがうれしかった。僕自身もちゅうぶでのお祭りをやってみたかったので、夢がかなった～！！楽しかった！！』

・『昔ちゅうぶで働いてくれていたスタッフとも会うことができた。』

屋上では音楽を聴きながら、かき氷や縁日があって海の家みたいでよかったです。雨じゃなくてよかったです…次やる時はちゅうぶのSNSでも発信したいと思います☆』



・『思っていたよりも地域の子どもたちが来てくれてよかったです。』

・『屋上が思っていたより暑くて、店番ができなかったけど、暑いのが厳しいと気付けたので、今後屋上ではするのはやめておこうと思った。』

・『4階の方の担当のお店(わたあめ)は集中して店番ができた。くじ引きは人気があり楽しそうで良かった。』

・『担当のお店でたません完売、楽しかったから参加出来て良かった。ルール説明など他の事業所や子どもたちにも自分から話せたので良かった。』

<利用者のやりたい、やってみたいを叶えたい>

『利用者ひとりひとりの『やりたい！やってみたい！！』ができる限り叶えていきたいというスタッフの強い思いとやりたいことを諦めずやってみよう！というメンバーの強い思いを掛け合わせた企画ができて良かったなあと思っています。』



『チームルーフ(建物屋上を活用して楽しい企画をやる)メンバーを中心^{たてものおくじょう}に、夏といれば何したい？というトークテーマから派生した夏祭り企画でしたが、地域の方参加型での初の試みだったのですべて手探り…。メンバー各々担当をもってもらい、メンバー主体で(どんなお店にしたいか・どんな物を作るか)準備から当日の店番まで←計画をスタッフに共有するこの難しさや当日までの準備・段取りを逆算して完成させる責任感をメンバーと共に感じながら挑めたのかな★と思っています！』

『多種多様な障害があっても楽しめる縁日の工夫も含め、祭りの日が近づくにつれメンバーにも責任感が芽生え、色々考えやってくれた事・意見がたくさんでた事がいちスタッフとして、本当にうれしかったです！』

木戸通雄の部屋



木戸通雄の部屋

もう初秋だ。あの夏の出来事、

天神祭&海レクへタイムスリップ！！

●天神祭<令和7年7月25日(金)大阪天満宮>



地下鉄南森町駅で降り、歩いて夕方6時に大阪天満宮に着いたゾ！！さあ、立石さんと天満橋目掛けて淀川の花火を見に行くゾ！！



まだ陽が明るいので花火が打ちあがるのはこれからまだ先だろう。天満橋の上を歩いて、痛めている膝に疲れが来て足の筋肉がパンパン。他の人が歩いているようにシャキシャキ歩けない。その時こんな曲を想い出した。『馬鹿しないでよ～♪』確か芸能界をもうとっくに早く引退された山口百恵さんの大ヒット曲「プレイバックpart2」というチョット不良姉ちゃんタイプのツッパリ風の曲だった。



良い人と出会えますように…。



夜8時すぎ、道路の上は車両通行止め。みんな各方面から電車を乗り継いだ花火を見に来たのだろう。淀川の天満橋へと向かう。なんとか痛い両ひざを我慢して夜9時すぎまで歩けた。夜は外食、饅弁ざるそば定食を食べ、家路に着いたら夜11時ジャストだった。残念ながらテレビのどのチャンネルでも天神祭の録画ニュースは放送されていなかつた。その日テレビ大阪では、屋上から天神祭の中継放送をしていた。

熱闘甲子園ならぬ熱闘天神祭、また来てねえ～んっ！！

●海レク<令和7年8月1日(金)兵庫県須磨海水浴場>

さあ須磨海水浴場に向かってスタート。AM8:25秋山さんが木戸の家に来て、手動車いすでJR大阪駅へ向けて出発。駅のローソンでいつものたばこ(キャメル6ミリ)1箱だけ、450円。確か今年の5月1日から値上がりしたような。なんか? 海の話で始まるところが、たばこ税の話になったような。たばこ 1箱500円になつたらちょっとしんどいなあ。

さあ海坊主ならぬ木戸通雄。この日、海坊主には会わなかつたが大きなクラゲがいっぱいだつた。水着の若者もいっぱいだあ!!

62歳の夏。プロ野球もセリーグは阪神にマジックが点灯した。パリーグも福岡ソフトバンクホークスが、連勝を重ねて首位をキープしている。もうじきマジックが点灯するだろ。今年の高校野球は近畿では、大阪代表ひがしおおさかだいがくかいわこうどうならだいひょうでんりこうこうきどとうじっかふいだいひょうふるがけひこうこうよくがんば東大阪大学柏原高校、奈良代表の天理高校と木戸のお父さんの実家の府井代表の敦賀氣比高校も良く頑張っていた。木戸は岐阜県代表の県立岐阜商業野球部の生まれつき左手の指のないという障害のハンデに負けなかつた横山君に健闘を讃えたい。

ベスト8で優勝候補の一角、横浜高校と試合をした県立岐阜商業は延長戦タイブレークで同点に追いつき、ミラクル野球で勝ち上がりベスト4へと進出した。本当に高校野球である9人制の、一体化した友情のプレーは素晴らしい。沖縄尚学高校、日本一優勝おめでとう。日大三高もよく頑張った。



※今年、令和7年8月1日(金)晴天猛暑。上の写真左は仁王立ちのシックスボディの木戸さん、右の写真はこの日1日同行付き添いヘルパーの秋山さんと、恥ずかしいけどお腹ちょっと気になる木戸。

今年、残念ながら須磨のボランティア代表者UBPの木戸さんとのツーショット写真は撮れていませんでした。



(写真向かって左から、関野君、青木君、著者木戸通雄62歳、事務局代表石田さん、山本さん)

(※木戸通雄の部屋10月号、阪神タイガースシリーズへと続く。文責:木戸)

きょうりょくかいひ

きょうりょくしゃめいぼ

協力会費・カンパ協力者名簿

林倉 繁広 さん はまだ 浜田 純一・千晴 さん なかがわ 中川 彰 さん	(香川県) よこはまし はびきのし	まつから 松倉 さん みやもと 宮本 聰子 さん	(とうきょうと (兵庫県)
---	-------------------------	-----------------------------	------------------

がつ にちげんざい
8月29日現在

きょうりょく ご協力ありがとうございました (担当: 安東)

「キメハラじゃないよ ~その2~」

※キメハラ～鬼滅の刃 に興味のない人に観るように勧めること
 ※オニに刃を振り下ろしていますが演出です。普段はオニを大切にしています。



みかくにんどうふつ
未確認動物(UMA)?が映り込んでました!! (ガチ)



あか
赤おにくん:

「世界中の人が同じ月を見てるんだよね」

あお
青おにくん:

「逆に宇宙から見た地球は国境線は見えないんだって」

あか
赤おにくん:

「でも戦争はなくなるね」

あお
青おにくん:

「宇宙人が地球を攻めてこない限り、人類は一つにならないんじゃないかな」

あか
赤おにくん:

「それでも一つにはならない気がする…」

あお
青おにくん:

「まあ、今日は、団子でも食べてぼんやり月を眺めようよ」

2025年10月～11月スケジュール

10月4日	土	梅田おにごっこ 10時～16時 @梅田スカイビル 1階ワンダースクエア集合 チラシ参照
10月5日	日	「ゆめバのじかん」上映 & 子どもの権利を話し合う会 13時50分～16時40分 @大阪市、中央会館
10月8日	水	障大連続研修会「障害者運動の歴史パート6(1970～1990年代/次世代)」13時半～@コミセン(森ノ宮)
11月8日	土	童夢関西フェスティバル 11時～16時 @長居公園自由広場
11月17日	日	「香かなる」上映会(ALSの映画) @阿倍野区民センター大ホール 10:50～/14:00～の2回上映
11月23日	日	24日(月)パリアフリー演劇祭 @森ノ宮医療大学(コスマスクエア駅近く)

●今年は史上最高の猛暑。9月になってもまだ35度越え。人間も野菜も魚もかなりしんどい。個人的には夏の暑さには強いのですが、強烈な日差しと熱風は少々こたえます。一番困るのは地下鉄の強烈な冷房。20分乗ってると体調壊しそうです。台風が通過してちょっとマシになるかなと思います。が、想定しない竜巻や線状降水帯も出てきて油断できません。ちゅうぶでは夏と冬、防災一泊取り組みを本部建物(おにわ)でやっています。ひこうたいへん体験しないことをやるってのもまたには必要です。10月4日(土)梅田おにっこ。スカイビル1階は雨が降ったら濡れます。西梅田地区は新しいまちでパリアフリー。地下や2階デッキがこんな風につながってるんだ。なんだこのオブジェは?パリアフリートイレ意外といっぱいある…みたいな発見がたくさんあります。一人でもどんな人でも参加できます。なんとか楽しい企画になるように準備中。台風が来ないことを祈っています。(いしだ)

●老いました。今年の8月は久しぶりに日本海で泳ぐことに。ぼくは知る人ぞ知る元水泳部で、高校生まではゆっくり泳ぐならいつまででも、どこまでも泳げたし、海で浮かぶだけならずっと普段から浮かんでました。背中に誰かを乗せて泳ぐこともへっちゃらだったんです。老いました。もうあの頃のかけらもありません。いや、かけらはあります。浮かぶくらいは今でも簡単ですが、泳ぐともう…すぐにバテるし、足はつるし、遠く泳げないし…泣きたくなるほど老いました。しかし今回ライフジャケットを着ながら泳ぐとめちゃくちゃ楽!勝手に浮かぶ!足がつっても沈まない!これは皆さんにお勧めです。お値段もなんと1,000円以下。安全な遊泳が楽しめます。老いましたが、いくつになっても今は人生で一番若い日。新しい発見はうれしいものですね。ただ、又明の利器にばかり頼らずにやはりあの頃のように泳ぎたい!と息子がスイミング習っている間泳ぐことにしました。すると!25メートル全力で泳いでタイム見て遅さに愕然…次の日変な筋肉痛…やはり老いました。(ひらぬま)

●編集後記、2度目はないかなあと思っていたらなんと最後の最後に順番が回ってきました(笑)皆さんに何を伝えたいかなと考えた時、やっぱり感謝を伝えないと。22歳の時にちゅうぶに来て、右も左も分からず全く知らない環境で気を張ってトゲトゲしてました。そんな私に優しくしてくれる人、怒ってくれる人沢山居て迷惑をかけて申し訳ないなと思ってました。2年経った頃边りからトゲが落ち着いてきていると言われるようになり色々過去に支えてくれた方々のお陰で私も少し大人になれたかなと思えるようになりました。ありがとうございます。今年、当時の私と同い年くらいの新人職員が沢山入ってくれました。きっと慣れない環境で色々と感じることも多いと思いますがその時は先輩方を頼りにしてみてください。普段話すことの無いあの人も、きっと見守ってくれます。私は9月末で退職しますがちゅうぶのことひっそりと見守ってますね。最後に最推し元乃木坂46園桃子さんの言葉をお借りして、「ちゅうぶも悪くないな」(ふじい)



【障害者活動センター赤おに】 〒546-0031 東住吉区田辺5-6-10 でんわ = 06(6623)7300 ファックス = 06(6657)5010

【グループホーム・リオ】 〒546-0032 東住吉区東田辺2-21-21 でんわ&ファックス = 06(6608)5244

【ヘルプセンター・すてっぷ】 NPO法人ちゅうぶ 2階 でんわ = 06(4703)3741 ファックス = 06(6628)0271

【障害者活動センター青おに】 NPO法人ちゅうぶ 1階 でんわ = 06(4703)3742 ファックス = 06(4703)3743

【NPO法人 ちゅうぶ】 〒546-0031 大阪市東住吉区田辺5-5-20 でんわ=06(4703)3740 FAX=06(6628)0271 ホームページ=https://npochubu.com/ メールアドレス=chubu@npochubu.com 郵便振込口座:00960-6-313427 通信定期購読料=1年間2,000円